

補助金等評価シート

●基本情報

補助金名	狩猟免許取得助成金						所管課	農政課
予算費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	事業	有害鳥獣対策事業費
	節	負担金、補助及び交付金	細節	補助金	細々節	狩猟免許取得助成金		
総合計画	基本方針	4	人・資源・立地を活かし_未来を拓く産業のまちづくり			政策分野	9	産業・雇用
	施策	1	農林業			主な取組	1	安定した付加価値の高い農業の振興
交付開始年度	平成24年度		継続年数	13年		終了・見直し（予定）年度		令和8年度
法令・例規等	根拠法令							
	要綱名	木津川市狩猟免許取得助成事業費補助金交付要綱						
分類	個人補助				市が独自の政策判断により、利用者等の負担軽減や個人に対する扶助的要素を含んだ支援を目的とするもの			
目的	有害鳥獣の狩猟者の高齢化による担い手不足の解消。							
内容	銃砲の所持に要する経費、第一種銃猟免許の取得及び狩猟者の登録に要する経費並びに相楽郡猟友会木津・山城・加茂支部の入会に要する経費を対象に交付。							
補助率の設定	定率補助	補助率	100%、 1 / 2			上限額	猟銃の購入150, 000円、保管庫の購入20, 000円	

ガイドライン対象	対象	対象外の理由	
----------	----	--------	--

●補助金等の状況

予算（要求）額		令和6年度		令和7年度		令和8年度（予定）	
		464, 000円	前年度比	464, 000円	前年度比	232, 000円	前年度比
財源	特定財源	0円		0円		0円	
	一般財源	464, 000円		464, 000円	100%	232, 000円	50%
	特定財源率（％）	0%		0%		0%	
補助対象事業費（見込）		0円		231, 700円			
補助金額（見込）		0円		231, 700円			
補助率（％）		0%		100%			
補助の実績（予定）		銃砲の所持に要する経費等に係る補助金申請に対し交付を行うことで、狩猟者の担い手確保の促進を図る。		銃砲の所持に要する経費等に係る補助金申請に対し交付を行うことで、狩猟者の担い手確保の促進を図る。		銃砲の所持に要する経費等に係る補助金申請に対し交付を行うことで、狩猟者の担い手確保の促進を図る。	
※団体運営費補助のみ	交付先団体における年間予算額						
	補助金の占める割合						
	令和6年度の交付先団体における繰越金						
	補助金と繰越金の割合対比						

●成果指標・目標

成果指標			
実績・目標値	令和6年度【実績値】	令和7年度【実績値】	令和8年度【目標値】

●基本的な視点

検証項目		チェック	特記事項
公益性	事業の目的や内容に明確な公益性が認められるか	○	
必要性	社会経済情勢の変化や市民ニーズ等の変化に的確に対応しているか	○	
	補助事業の目的や内容について、行政が関与する必要性があるか	○	
	所期の目的を達成しているものではないか	○	
有効性	補助事業の目的に沿った成果があり、補助金に見合った効果が挙げたか	○	
	行政の直接執行や事業委託と比較し、補助金等による執行が最適な手段か	○	
	少額又は申請件数の少ない補助金等について、継続する必要性があるか	○	
妥当性	補助対象経費は、公金で補助することが妥当であるか	○	
	補助率や補助金額は社会経済情勢等や他自治体と比較し適切か	○	
公平性	必要性などが検証されることなく、同一の対象者に対し、長期間にわたり補助金等の支出をしていないか	○	
	明確な理由なく補助対象者を特定するなど、交付先に偏りがないか	○	
透明性	個別の要綱が制定されており、申請に係る書類の様式が定まっているか	○	
	補助金の概要、要綱等がホームページ等に掲載されているか	○	

●見直し基準

項目		適否	特記事項
1	ガイドラインに基づく必要事項・申請書類等が規定された補助金等交付要綱が整備されている	○	
2	補助率は補助対象経費の1/2以下である	□	有害鳥獣の減少と農作物の被害抑制を図るため、対象経費の10/10（一部は1/2）を補助している。
3	対象経費を明確にしており、公共性・公益性が伴わない経費は対象外としている	○	
4	前金払・概算払を行っていない、もしくは、補助金等交付要綱に基づく規定・様式により適正な支給を行っている	○	
5	交付先団体の繰越金等を含めた財務状況からみて補助は適正である（団体運営費補助のみ）	-	
6	交付先団体の事務局が適切に運営されているか（団体運営費補助のみ）	-	

●今後の方向性

方向性	☒ 現行のまま継続 ☐ 見直し継続 ☐ 廃止	
現行のまま継続とする理由 見直し内容 又は 廃止理由	今後ますます狩猟者の高齢化が見込まれることから、現行のまま継続とする。	
見直し・廃止の時期		